

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)

【公開番号】特開 2016-181902 (P2016-181902A)

【公開日】平成 28 年 10 月 13 日 (2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2016-059

【出願番号】特願 2016-86089 (P2016-86089)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 88/10 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 W 88/10

H 0 4 W 24/10

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 9 月 8 日 (2016.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信の方法であって、

第 1 のラジオ・アクセス技術の、サービス提供セルから受信された第 1 のダウンリンク・チャンネルのチャンネル品質を測定することと、

前記測定されたチャンネル品質に基づいて、チャンネル測定レポートを生成することと、

第 2 のラジオ・アクセス技術のラジオからの干渉に少なくとも部分的に基づいて、受信されたチャンネル測定値に対して前記サービス提供セルによって適用された予測されるバックオフを補償するために、前記チャンネル測定レポートを変更することと、

前記変更されたチャンネル測定レポートを、前記サービス提供セルへレポートすることと

、

前記サービス提供セルから第 2 のダウンリンク・チャンネルを受信することと、前記第 2 のダウンリンク・チャンネルは、前記変更されたチャンネル測定レポートに少なくとも部分的に基づいたスループット・レートを有する、

を備える方法。

【請求項 2】

前記チャンネル測定レポートを変更することは、前記チャンネル測定レポートを、期間にわたる平均干渉を含めるように変更することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記チャンネル測定レポートを変更することは、前記チャンネル測定レポートを、期間にわたって経験された最大の干渉を含めるように変更することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記変更することは、前記バックオフを補償するために、前記チャンネル測定レポートを増加させることを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記変更することは、前記チャンネル測定レポートおよび対応する割り当てられたレートに基づく、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 のラジオ・アクセス技術は、産業、科学、および医療モデムを備え、

前記第 1 のラジオ・アクセス技術は、ロング・ターム・イボリユーション・モデムを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

無線通信のための装置であって、

第 1 のラジオ・アクセス技術の、サービス提供セルから受信された第 1 のダウンリンク・チャンネルのチャンネル品質を測定する手段と、

前記測定されたチャンネル品質に基づいて、チャンネル測定レポートを生成する手段と、

第 2 のラジオ・アクセス技術のラジオからの干渉に少なくとも部分的に基づいて、受信されたチャンネル測定値に対して前記サービス提供セルによって適用された予測されるバックオフを補償するために、前記チャンネル測定レポートを変更する手段と、

前記変更されたチャンネル測定レポートを、前記サービス提供セルへレポートする手段と

、前記サービス提供セルから第 2 のダウンリンク・チャンネルを受信する手段と、前記第 2 のダウンリンク・チャンネルは、前記変更されたチャンネル測定レポートに少なくとも部分的に基づいたスループット・レートを有する、

を備える装置。

【請求項 8】

記録された非一時的なプログラム・コードを有する非一時的なコンピュータ読取可能な媒体であって、前記非一時的なプログラム・コードは、

第 1 のラジオ・アクセス技術の、サービス提供セルから受信された第 1 のダウンリンク・チャンネルのチャンネル品質を測定するためのプログラム・コードと、

前記測定されたチャンネル品質に基づいて、チャンネル測定レポートを生成するためのプログラム・コードと、

第 2 のラジオ・アクセス技術のラジオからの干渉に少なくとも部分的に基づいて、受信されたチャンネル測定値に対して前記サービス提供セルによって適用された予測されるバックオフを補償するために、前記チャンネル測定レポートを変更するためのプログラム・コードと、

前記変更されたチャンネル測定レポートを、前記サービス提供セルへレポートするためのプログラム・コードと、

前記サービス提供セルから第 2 のダウンリンク・チャンネルを受信するためのプログラム・コードと、前記第 2 のダウンリンク・チャンネルは、前記変更されたチャンネル測定レポートに少なくとも部分的に基づいたスループット・レートを有する、

を備える、非一時的なコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 9】

無線通信のために構成された装置であって、

メモリと、

前記メモリに接続された少なくとも 1 つのプロセッサとを備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

第 1 のラジオ・アクセス技術の、サービス提供セルから受信された第 1 のダウンリンク・チャンネルのチャンネル品質を測定し、

前記測定されたチャンネル品質に基づいて、チャンネル測定レポートを生成し、

第 2 のラジオ・アクセス技術のラジオからの干渉に少なくとも部分的に基づいて、受信されたチャンネル測定値に対して前記サービス提供セルによって適用された予測されるバックオフを補償するために、前記チャンネル測定レポートを変更し、

前記変更されたチャンネル測定レポートを、前記サービス提供セルへレポートし、

前記サービス提供セルから第 2 のダウンリンク・チャンネルを受信するように構成され、

前記第2のダウンリンク・チャネルは、前記変更されたチャネル測定レポートに少なくとも部分的に基づいたスループット・レートを有する、装置。

【請求項10】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、前記チャネル測定レポートを、期間にわたる平均干渉を含めるように変更するように構成された、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、前記チャネル測定レポートを、期間にわたって経験された最大の干渉を含めるように変更するように構成された、請求項9に記載の装置。

【請求項12】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、前記バックオフを補償するために、前記チャネル測定レポートを増加させるように構成された、請求項9に記載の装置。

【請求項13】

前記増加させることは、前記チャネル測定レポートおよび対応する割り当てられたレートに基づく、請求項12に記載の装置。

【請求項14】

前記第2のラジオ・アクセス技術は、産業、科学、および医療モデムを備え、

前記第1のラジオ・アクセス技術は、ロング・ターム・イボリューション・モデムを備える、請求項9に記載の装置。